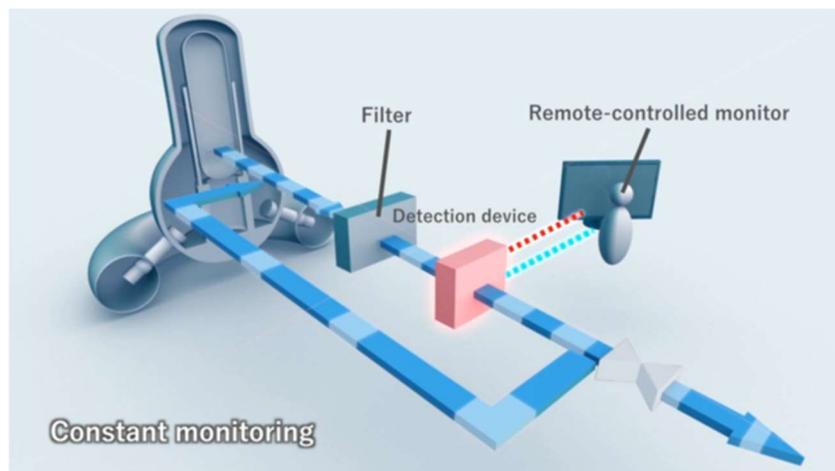


燃料デブリ取り出し時臨界監視システム

本廃炉公募テーマは、受付を終了しています。

募集内容



下記の課題に対する

・調査/ベンチマーク/ケーススタディー

を募集します。ご提案は、下記ボタンよりご投稿ください。

【課題・現在の取り組み】(2017.10.24 更新)

デブリ取り出しの際の臨界監視として、排気ガスモニタリングによる炉心全体の臨界監視と、切削箇所近傍での中性子モニタによる局所的な臨界監視を組み合わせることを検討中。デブリ取り出し工法の決定に際して、臨界監視方法についても技術的成立性を確認しておく必要がある。

なお 2015 年度の国プロでは冠水時の臨界監視手法及び臨界防止剤の検討結果を得ており、2016 年度以降の国プロではデブリ取り出し作業時の臨界監視手法を検討中。

【関連情報、課題の背景など】(2017.10.24 更新)

中長期ロードマップ

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/hairo_osensui/dai3/index.html

IRID シンポジウム 2017「燃料デブリの取り出し」

http://irid.or.jp/_pdf/Sympo2017_Okuzumi.pdf

http://irid.or.jp/_pdf/Sympo2017_13.pdf

【知見入手希望時期、関連マイルストーン】(2017.10.24 更新)

2019 年度 初号機の燃料デブリ取り出し方法の確定

2021 年内 初号機の燃料デブリ取り出しの開始